

右彫刻の諸井謙司さん



佐賀銀行文化財団新人賞

邦楽 高橋浩寿さん 彫刻 諸井謙司さん

佐賀ゆかりの若手文化人を対象にした「佐賀銀行文化財団新人賞」に佐賀市の邦楽家高橋浩寿さん(33)＝本名・杉原早百合＝と同市の彫刻家諸井謙司さん(28)が選ばれた。

高橋さんは佐賀市生まれ。幼少より父の杉原楠重さんのもとで民謡を始める。

12歳で津軽三味線高橋流の故高橋浩次郎氏に師事。17歳のとき、全国最年少で皆伝取得した。致遠館高卒業と同時にプロ活動を開始。2006年の全国大会で優秀賞を受賞するなど賞歴も多数。民謡では杉原早百合の名で活動し、2014年には第49回産経民謡大会で大賞を獲得した。

津軽三味線と民謡の演奏や後進指導など活動の幅広さと深さが高い評価を受けた。高橋さんは「受賞を機に気を引き締め、これからも演奏や普及に精一杯努めたい」と話す。

諸井さんは佐賀市生まれ。佐賀北高芸術コースから崇城大学で彫刻を専攻。同大学院修了後、1年間の研究生を経て帰郷し、制作に励む。日展に入選8回、昭和会展は2回入選。佐賀県展や佐賀美術協会展の入賞・入選も多く、2015年の県展は全部門の中の大賞に選ばれた。2014年、神奈川県かながわの岡田美術館に「波誘」が永久設置された。

人物像を中心に具象から抽象まで作風は幅広い。その実力に加え、表現力の深まりや更なる飛躍が期待される。諸井さんは「身に余る光栄。今後も精進し、自分の世界観を追求していきたい」と語る。

2日に佐賀銀行本店で贈呈式があり、それぞれ副賞100万円が贈られた。同賞は今年で26回目、贈呈者は64人となった。

(成富禎倫)